

平成 30 年 4 月 25 日

研究に関する情報公開文書

研究課題名：「好酸球性消化管障害における内視鏡所見・病理組織所見。血液検査所見と病勢の関連性に関する臨床研究」

1. 研究の対象

平成 22 年 5 月 1 日から平成 30 年 6 月 30 日の間に当院において好酸球性食道炎・好酸球性胃腸炎と診断された方

2. 研究目的・方法・研究期間

好酸球性消化管障害は消化管粘膜に多数の好酸球（アレルギーの原因）が浸潤し慢性炎症を引き起こす結果、消化管の働きの異常や不快な症状が出現する疾患で、時に再発を起こすといわれています。本疾患は日本において近年増加傾向にあります。しかし、本疾患の病態は十分に明らかとなっていないのが現状です。本疾患と診断された患者さんの長期経過観察を行うことで、病気の特徴を見出すことを最終目標にしています。研究期間は倫理委員会承認日から平成 33 年 3 月 31 日までです。

3. 研究の用いる試料・情報の種類

情報：問診内容 内視鏡画像

試料：病理組織、血液

4. 外部への資料・情報の提供

なし

5. 研究組織

本学の研究責任者

藤田保健衛生大学医学部消化器内科学 教授 片野 義明

本研究の対象になられる方で、ご自身のデータの利用を除外してほしいと希望される方は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。除外のお申し出により不利益を被ることは一切ありません。

6. 問い合わせ先：

藤田保健衛生大学医学部消化器内科学
准教授 小林 隆（こばやし たかし）
愛知県名古屋市中川区尾頭橋 3-6-10
電話 052-323-5646
e-mail: tkoba@fujita-hu.ac.jp